デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示

2026年11月16日(月)　発行:ていネコの投資ノート

本日のポイント

- **最重要**:前営業日(11月13日)引け後に公表されたワタミ＜7522＞のMBO(TOB価格1,284円)と、積水ハウスによる岐阜造園＜1438＞の完全子会社化TOB(同2,770円)が本日から買付期間入り。両社とも上場廃止の見込みで、11月13日付で監理銘柄(確認中)に指定された。
- **傾向**:MBO・親会社や大株主による完全子会社化といった非公開化案件が続いている。11月に買付けが始まった上場廃止前提のTOBは11件(株探の一覧から筆者集計)。あわせて平田機工(自己株式を除く発行済株式総数の10.4%)、UTグループ(同7.2%)など大型の自社株買いも出た。
- **株主の注意点**:ワタミはTOBの成立を条件に、今期(2027年3月期)を無配とし、株主優待も廃止する。TOBが成立すると、応募しなかった株主も株式併合などで最終的には現金化される(スクイーズアウト)。ストレージ王＜2997＞は本日整理銘柄に指定され、12月16日に上場廃止となる。

1．本日の主な開示

対象:11月13日(金)の大引け後から本日11月16日(月)18時ごろまでに公表され、ウェブ検索で確認できた開示。重要度の高い順に並べています。

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
MBO(TOB)	7522	ワタミ(プライム)	渡邉美樹会長兼社長が代表のWisdomによるMBO。1株1,284円、期間11/16～12/28。下限28.78%、上限なし。サントリー(13.52%保有)は応募せず、後に株式交換で再出資する予定	上場廃止の見込み。TOBの成立を条件に、今期は無配とし株主優待も廃止(2026年9月末基準分が最後)
TOB(完全子会社化)	1438	岐阜造園(スタンダード)	持分法適用会社として20%を持つ積水ハウスが完全子会社化を目指す。1株2,770円、期間11/16～2027/1/13、総額約72.6億円。会社は賛同し、応募を推奨	上場廃止の見込み。本日はストップ高の2,600円で引けた
上場廃止の決定	2997	ストレージ王(グロース)	エリアリンクのTOB(1株1,340円、2026年8月に終了)に続く株式併合で上場廃止が決定。整理銘柄期間は11/16～12/15	上場廃止日は12/16。端数分は金銭で受け取る(株主の手続きは原則不要)
自社株TOB	6676	バッファロー(—)	自己株式の公開買付け。期間は11/19～12/17。買付価格は11月18日の株価等をもとに決める予定で、現時点では未確定	上場は維持。応募するかは任意
株式分割	6856 7812	堀場製作所(プライム) クレステック(スタンダード)	堀場製作所は1株を5株に、クレステックは1株を2株に分割する。基準日はいずれも12/31	株主の手続きは不要。分割後は1単元の金額が下がる
大型の自社株買い	6258 2146	平田機工(—) UTグループ(—)	平田機工:自己株式を除く発行済株式総数の10.4%、100億円を上限に取得(11/16～2027/3/31)。配当予想も従来の75円から95円に引き上げ(20円増配)。UTグループ:自己株式を除く発行済株式総数の7.2%、60億円が上限	平田機工は株主還元の強化。UTグループは株式報酬による希薄化の抑制が目的(会社開示)

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
株主優待	220A 6538 9159	Faber Company(スタンダード) ディスラプターズ(スタンダード) W TOKYO(グロース)	Faber Company:3月末・9月末に100株以上の株主へ、総額(2027年9月期は1,000万円)を等分するシェア型デジタルギフトを新設。初回基準日は2027年3月末。ディスラプターズ:3月末に1,000株以上の株主へのシェア型優待を新設。初回は2027年3月31日で原資5,000万円(次回以降は増減あり)。両社とも継続保有の条件はなく、1人当たりの額は対象株主数などで変動する。W TOKYO:2026年6月末基準分を最後に優待を廃止	Faber Companyは本日一時ストップ高(終値971円)。ディスラプターズは今期の配当予想を5円から3円に引き下げ。W TOKYOは年間配当予想33円(初配となる中間20円、期末予想13円)を発表

2．注目案件の解説

ワタミ＜7522＞：創業者主導のMBOで非公開化へ

何が決まったか:渡邉美樹会長兼社長が代表を務めるWisdom(株式の100%を、筆頭株主である渡邉氏の資産管理会社の乾為天が保有)がTOBを行い、ワタミを非公開化します。ワタミの取締役会は賛同を表明し、株主に応募を勧めています。

条件:TOB価格は1株1,284円。会社の開示では、公表前日(11月12日)の終値858円に対するプレミアムは49.65%です。ただし報道を受けて11月13日はストップ高の1,008円で引けており、この終値に対するプレミアムは27.4%になります(筆者算出)。期間は11月16日～12月28日(30営業日)、決済開始は2027年1月6日。下限は11,545,500株(所有割合28.78%)で、上限はありません。乾為天が直接保有する24.33%とサントリーの13.52%は応募されません。

株主がとれる対応:①期間内に証券会社を通じてTOBに応募する。②応募しない場合も、TOBが成立すれば株式併合(スクイーズアウト)によって金銭が支払われる予定です。株式併合に反対する株主は、所定の手続きを期限内にとれば、裁判所に価格の決定を申し立てることができます(手続きと期間は今後の株主総会招集通知などで示されます)。9月末時点の株主には優待食事券などが送られます。

論点・注意点:TOBが成立した場合、今期の期末配当は無配となり、株主優待も廃止されます(いずれもTOBの成立が条件)。下限が低めなのは、創業家側とサントリーの持ち分と合わせれば、株式併合の承認に必要な3分の2以上の議決権を確保できるためです。

岐阜造園＜1438＞：積水ハウスが関連会社を完全子会社化

何が決まったか:岐阜造園の株式を20%持つ積水ハウスが、残りの株式すべての取得を目指してTOBを行います。狙いは、中期経営計画の重点課題である「大規模外構造園事業の強化」です。岐阜造園は賛同し、応募を推奨しています。

条件:TOB価格は1株2,770円。公表日(11月13日)の終値2,100円に対するプレミアムは31.9%(筆者算出)、会社の開示による前日(11月12日)終値1,986円に対するプレミアムは39.48%です。期間は11月16日～2027年1月13日(37営業日)、決済開始は2027年1月19日の予定。下限は1,529,300株で、上限はありません。公開買付代理人はSMBC日興証券です。

株主がとれる対応:TOBに応募するか、市場で売却するか、持ち続けて株式売渡請求または株式併合による現金化を待つか、のいずれかになります。

論点・注意点:本日の終値2,600円とTOB価格の差は約6.5%(筆者算出)。この差には、決済までの期間(約2か月)やTOBが成立しないリスクのほか、売買の需給など複数の要因が影響しうるため、ひとつの理由では説明できません。配当の扱いは本稿では確認できていません。

ストレージ王＜2997＞：株式併合で12月16日に上場廃止

何が決まったか:エリアリンクによる完全子会社化の最終段階です。東証は、少数株主の持ち株がすべて1株未満になる比率での株式併合を理由に上場廃止を決め、本日から整理銘柄に指定しました。整理銘柄の期間は12月15日まで、上場廃止日は12月16日(水)です。

株主がとれる対応:手続きは原則不要です。1株未満となった端数は会社がまとめて売却し、その代金が金銭で支払われます(TOB価格の1,340円と同水準の見込み)。整理銘柄の期間中は市場でも売却できます。

3．上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たに決まったもの：ストレージ王＜2997＞（グロース、株式併合、上場廃止日 12/16）。このほか TOKYO PRO Market のヒューマンアジャスト＜249A＞が、会社の申請により上場廃止となります（12/20）。同社は 12 月 21 日に福証 Q-Board へ上場する予定です（11 月 16 日に上場承認）。

上場廃止日	会社名（コード・市場）	理由
11/25（水）	サツドラホールディングス（3544・S）	MBO（TOB と株式併合）
11/26（木）	Sharing Innovations（4178・G）	Orchestra Holdings との株式交換による完全子会社化
11/27（金）	三機サービス（6044・S）	三機シンメンテホールディングスとの株式交換による完全子会社化
12/1（火）	光・彩（7878・S）	会社の申請による上場廃止（名証での上場は継続）
12/10（木）	動力（1432・TPM）	会社の申請による上場廃止
12/16（水）	ストレージ王（2997・G）	株式併合（エリアリンクによる完全子会社化）

市場：S＝スタンダード、G＝グロース、TPM＝TOKYO PRO Market。JPX の上場廃止銘柄一覧と「上場廃止等の決定」の公表をもとに作成。まぐまぐ（4059）は上場維持基準への不適合により、2027 年 4 月 1 日に東証での上場を廃止する予定（福証での上場は継続）。

4．今後の主な日程

日付	会社名（コード）	内容
11/16（月）	ワタミ（7522）、岐阜造園（1438）、CE ホールディングス（4320）、artience（4634）	TOB 開始（本日）。CEHD・artience は 12/14 まで
11/19（木）	バッファロー（6676）	自社株 TOB の開始（～12/17）
11/25（水）	サツドラ HD（3544）	上場廃止
11/26（木）	カカクコム（2371）、かどや製油（2612）、リソー教育（4714）／Sharing Innovations（4178）	TOB 期間の終了／上場廃止。11 月末基準（11/30）の権利付最終日
11/27（金）	三機サービス（6044）	上場廃止
12/1（火）	中電工（1941）／光・彩（7878）	TOB 期間の終了／上場廃止
12/2（水）	電通総研（4812）	TOB 期間の終了
12/3（木）	東武住販（3297）、大阪製鐵（5449）	TOB 期間の終了

5．用語の解説

スクイーズアウト：TOB などで大部分の株式を取得した買収者が、残りの少数株主から株式を強制的に買い取る手続きです。株式併合や株式売渡請求の方法があり、応募しなかった株主にも原則として TOB 価格と同じ額の金銭が支払われます。

監理銘柄（確認中）：上場廃止のおそれを東証が投資家に知らせる指定です。上場廃止が決まると「整理銘柄」に移り、原則 1 か月ほどで上場廃止となります。

本資料は、ウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。11 月 16 日大引け後の開示は、作成時点（18 時ごろ）で確認できたものに限られます。市場区分が「—」の銘柄は、作成時点で確認できなかったものです。バッファローの自社株 TOB の期間と株式分割 2 件は、確認できた出典がそれぞれ 1 つだけです。

「筆者算出」は公表価格と終値から筆者が計算した値、「—」は取得できなかった数値です。

生成 AI を用いて公開情報を整理・執筆しました。TOB 期間は株探「TOB・MBO 銘柄一覧（11 月 13 日現在）」により、延長されることがあります。

出典：日本取引所グループ（上場廃止等の決定、監理・整理銘柄一覧、上場廃止銘柄一覧）、各社の適時開示（BigGo ファイナンス経由）、株探ニュース、日本経済新聞、日本インタビュ新聞（media-ir）、M&A Online、日本 M&A センター、株基礎（kabukiso）、QUICK Money World、キニナルニュース（ストップ高一覧）。

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。